

## 台東区立金竜小学校で出前授業を行いました

2月19日(木)5年生55名、3月12日(水)6年生67名に対して出前授業を行ってきました。

5年生の授業は「社会のしくみ～支え合うってどういうこと？」がテーマです。7問のクイズを随所に入れ込み、それを通じて社会保険について学んでもらうという構成です。クイズ出題者は“いつもの”松澤先生が不在のため、藤本先生が担当してくれました。クイズはグループ対抗戦のため毎回とても盛り上がります。アンケートをみると、1番面白かったのはやはりクイズ、次に我々が演じた劇でした。一番早く年金をもらえるのはどこの国か？というクイズも興味をもってくれたようです。授業に参加した子ども達は将来必ず年金保険料を納付し、社会を支えてくれるでしょう。

6年生に対しては、「働くこと」をテーマにした授業です。会社社長、ラグビー選手、保育士、パティシエ、産婦人科医に扮した人を登場させ、それぞれの仕事の大変なところを考えてもらいました。続いて、働くとはどんないいことがあるのか、人はなぜ働くのか、夢をかなえるために必要なことは何かをグループに分かれて話し合ってもらいました。「仕事についたら1人で働けると思っていたが、様々な人に支えられていると思った」、「仕事は面倒で大変だけど楽しいこと・やりがいもあると考えが変わった」という感想があり嬉しく思いました。



